

地域と歩んだ就実の軌跡

地域貢献報告書（第14号）

2021 年度

就実大学
就実短期大学

地域と歩んだ就実の軌跡

地域貢献報告書（第14号）

2021 年度

就実大学
就実短期大学

ごあいさつ

副学長兼産学官地域連携センター長

野本 明成

大学は教育、研究を本来の使命としていますが、大学の第三の使命として社会貢献すなわち地域社会、経済社会、国際社会等広い意味での社会全体の発展への寄与が求められてきています。それを受けて、本学は「地域社会の知の拠点としての立場を認識し積極的に地域貢献に寄与する」ことを実践指針として明示しており、それを踏まえた大学としての方針を、第一に「子育て支援、防災支援、地域交流事業への積極的参加、公開講座や出張講義、卒業後研修など、大学の知的資源や技術力を有効活用して、教育研究成果を広く社会に還元する、第二に地域の産業界や自治体、他大学との連携による共同研究・共同事業を推進し、地域活性化に貢献する、第三に地方創生に資する大学及び各学部の強みや特色を生かした戦略的ブランド事業を展開して、地域と共に輝き、地域から信頼される大学となる」としています。

それを実践するために、本学における社会連携・社会貢献を推進する全学的な組織として、産学官地域連携センターと地域貢献委員会があり、「学術研究や教育研究の活性化によるイノベーションの創出及びその成果の社会還元、産学官連携や地域連携活動の促進並びに地域人材の育成や生涯学習などを通じて、地域社会の活性化や振興に積極的に貢献すること」を目的とし、公開講座等の企画・運営に関する事項、高大連携等の企画・運営、産官学の連携並びに共同研究の推進、地域の教育支援を行っています。また、各学部・研究科が学外組織との連携による地域人材の育成、確保、まちづくり等地域の振興に関する活動を行っています。さらに、「就実教育実践センター」は地域の健康福祉及び子育てに関する活動を、「就実心理臨床センター」は、地域に開かれた心理相談の場であると同時に臨床心理士養成の教育・訓練施設でもあり、「就実大学臨床薬学教育研究センター」は、地域薬剤師に対する生涯研修のために、地域連携公開講座を実施しています。図書館では、地域住民を対象とした「図書館セミナー」により、地域への生涯学習に役立てています。「吉備地方文化研究所」は、広く岡山地方文化に関する研究を行い地域文化の発展に寄与するための組織であり、歴史資料講読会など学外者を交えた研究会を実施しています。また、学外の研究機関や民間企業との受託研究・委託研究等を通じた社会連携・社会貢献の中から、著しい研究成果が得られ、特許申請につながる発明も行われています。

本学の社会連携・社会貢献の特色は、地域のニーズに即した取り組みを行っている点、学生の参加を得て行われている点、さらに研究シーズを生かした喫緊の問題を解決することにあります。

今後とも教育、研究の成果をもとに広く社会に貢献していく所存でございますのでご協力の程、よろしく願いいたします。

目 次

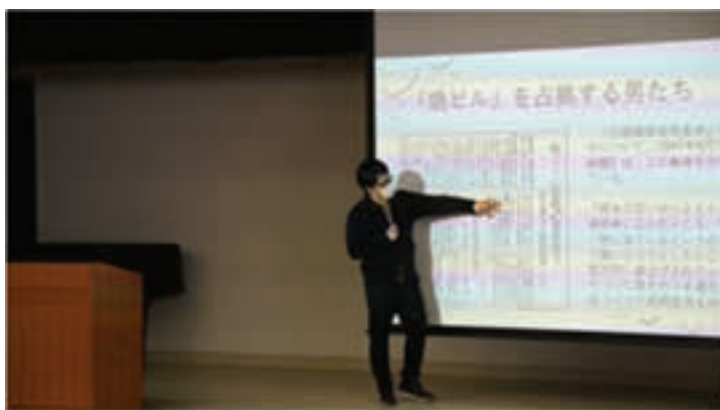
ごあいさつ	1
学科・研究所・センター等主催事業	7
出前授業	15
学外組織との連携・協働	21
各種学外委員会の応嘱	41
講師の派遣	59

学科・研究所・センター等主催事業

主	催	就実大学表現文化学会		
行	事	令和三年度表現文化学会学術講演会		
講	師	山本昭宏（神戸市外国語大学）		
日	付	2022年11月6日	場	所 本学R601
対	象	者 表現文化学科所属学生	参	加 人 数 約170名

概要

令和3年11月6日土曜日、2021年度表現文化学会学術講演会が開催されました。今年度はメディア文化史をご専門とする神戸市外国語大学准教授の山本昭宏さんにお越しいただき、「水木しげると戦後日本 傷痍軍人・貸本漫画・妖怪」というタイトルでご講演いただきました。会場には本学科の学生を招き、感染対策を徹底したうえで講演を聴いてもらいました。山本さんのご講演は、戦後日本を代表する漫画家である水木しげるの初期作品を分析しながら、そこに彼の戦争体験、南方体験、そして「戦後」経験がどのような痕跡を残しているかを明らかにするものでした。山本さんはまず、水木が激戦地・ニューギニアからの復員兵であったという事実から語り始め、戦場で片腕を失ったことや、占領下の非軍事化政策のもとで軍人恩給が廃止されたために困窮を強いられたことなど、漫画家としてデビューするまでの水木の経歴を丁寧に説明してくださいました。戦争の記憶を忘却することで「戦後」の再出発を図ろうとした日本社会にとって、一人の傷痍軍人として帰還した水木は招かれざる客であったのではないか、その疎外感が「異形なる者の帰還」というモチーフとして貸本漫画家時代の作品に表れているのではないかという議論は非常に興味深いものであり、会場に集まった学生たちも熱心に聞き入っていました。さらに山本さんは、人間と妖怪や幽霊などが同じ空間の中で違和感なく共存する水木の作品のうちに「異形なる者との共生」というモチーフを見出し、その源泉にアナキスト・石川三四郎の思想的影響があることを指摘したうえで、水木が構想した〈革命〉の可能性について考察されていました。幅広い資料を渉猟しながら思いもかけない繋がりを見出していく語り口は、人文科学を学ぶことの意義・楽しさを十分に伝えてくれるものであり、質疑応答の時間では学生からの質問が相次ぐなど、会場は活気に包まれておりました。



主 催	就実教育実践研究センター (就実子育てアカデミー実行委員会)			
行 事 名	親子ふれあいタイム			
講 師	大学・短大教員 学生ボランティア等			
日 付	2021年6月19日開始	場 所	オンライン	
対 象 者	0歳～5歳児の親子	参 加 人 数	毎回約5名程度	

概要

1 実施日および内容

不定期開催 保護者対象のミニ講座や、学生による子どもとの交流

2 成果等：

本事業は就実教育実践研究センターが地域のNPO、学校、保育所、町内会、企業、行政と協働して運営している「就実子育てアカデミー」の事業である。

本年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行により事業の継続が困難な状況にあったが、6月よりオンラインでの講座を実施した。

「今日はパパにプレゼント 一肩こり・腰痛体操と絵本でリフレッシュ」では学生が絵本の読み聞かせや教材作成を行うなど、オンラインでの限定された活動の中でも、子どもとその保護者にかかわる機会を得ることができた。

当初はオンラインという形式に対する反応に懸念もあったが、「移動の負担や三密の心配もなく、便利」「他のイベントが中止になる中、貴重な機会となった」「他の参加者さんとも交流ができて楽しかった。」等の感想があった。

令和4年3月まで、引き続き講座を実施する予定である。

なお、本事業は令和3年度岡山県備前県民局令和3年度おかやま子育てカレッジ地域貢献事業費補助金採択事業である。

主 催	薬学部 附属薬局		
行 事 名	糖尿病予防フェア		
講 師	松本かおり、西山典子、吉井圭佑、柴田隆司、川崎知子、竹内沙季 及び薬学部5年生2名（実務実習生）		
日 付	2021年4月5日～9日	場 所	本学薬学部附属薬局 待合室
対 象 者	来局者	参加人数	23名

概要

2021年4月5日（月）～9日（金）の期間に「糖尿病予防フェア」と題したイベントを行った。実務実習生らが作成した「糖尿病予防クイズ」のチラシを配布し、今回のイベントの要としてAGEs測定を実施した。

AGEsとは、グルコースやフルクトースなどの単糖が蛋白質・脂質・核酸などのアミノ基と非酵素的に糖化反応を起こし、形成・蓄積される老化物質の一つであり、AGEsが体内に蓄積すると糖尿病、心疾患、がん、骨粗鬆症、神経変性疾患、更年期障害、歯周病、脂肪肝、腎疾患などの誘発につながる事が報告されている。

来局者に積極的にAGEs測定を勧め、計23名に参加して頂いた。参加者に対して、測定結果の説明のみならず、AGEs値が基準より高い場合は、糖質や酸化物の摂取を減らして抗酸化物質の摂取を増やすことや、調理温度の低いメニューを勧めるなど、AGEsの産生を抑えるための指導も行った。本イベントに関する記事が、山陽新聞（「知を生かす～地域と大学～」、2021年4月25日朝刊）に掲載された(図1)。



図1：山陽新聞の記事（知を生かす～地域と大学～）、2021年4月25日朝刊）

主 催	薬学部 附属薬局		
行 事 名	健康まつり		
講 師	松本かおり、西山典子、吉井圭佑、柴田隆司、川崎知子、竹内沙季		
日 付	2021年8月2日～13日	場 所	本学薬学部附属薬局 待合室
対 象 者	来局者	参 加 人 数	20名

概要

2021年8月2日（月）～13日（金）の期間に開局2周年記念として「健康まつり」と題したイベントを行った。

新型コロナ感染予防として不要・不急の外出を控えるよう推奨され、自宅で過ごす時間が多くなっており、筋力の低下に不安を抱える地域住民のために、待合室でフレイルチェック（岡山市フレイル対策事業、心身の活力が低下して要介護状態に近づいているかどうか）を実施した。チェックリストの問診と握力測定の結果より、フレイル状態の判定を行い、「栄養」「体力」「社会参加」のうち優先的に対応すべき項目から助言・指導を行った。

また、お薬だけでなく、食事や健康について相談窓口を設けて相談者に対応した。

主 催	薬学部 附属薬局		
行 事 名	薬と健康の週間		
講 師	松本かおり、西山典子、吉井圭佑、柴田隆司、川崎知子、竹内沙季 及び薬学部5年生2名（実務実習生）		
日 付	2021年10月18日～22日	場 所	本学薬学部附属薬局 待合室
対 象 者	来局者	参 加 人 数	48名

概要

2021年10月18日（月）～22日（金）の期間に「薬と健康の週間」と題したイベントを行った。実務実習生らが服薬支援商品を選び、各商品の利便性を紹介する資料を作成して店頭に掲示して販売した。

また、体内糖化度（AGEs：体内に蓄積する老化物質で、糖尿病、心疾患、がん、骨粗鬆症、神経変性疾患、更年期障害、歯周病、脂肪肝、腎疾患などの疾患の誘発につながる物質）の測定を来局者に勧め、計48名に参加して頂いた。参加者に対して、測定結果の説明のみならず、AGEs値が基準より高い場合は、糖質や酸化物の摂取を減らして抗酸化物質の摂取を増やすことや、調理温度の低いメニューを勧めるなど、AGEsの産生を抑えるための指導も行った（図1）。



図1：体内糖化度測定の様子

主 催	薬学部 附属薬局		
行 事 名	防災チャレンジデー		
講 師	松本かおり、西山典子、吉井圭佑、川崎知子、竹内沙季		
日 付	2021年11月21日	場 所	本学薬学部附属薬局 研修室
対 象 者	地域住民	参加人数	20名

概要

2021年11月21日（日）に「防災チャレンジデー」と題して、防災について学び・体験するイベントを行った。

まず、災害医療認定薬剤師である吉井圭佑先生（薬学部助教）に「災害ってなあに？」として講演頂き、非常時に体調を維持するためにトイレの衛生管理に配慮する必要性が説明された。

次に、衛生管理に役立つダンボールトイレを参加者とともに作成するワークショップを実施した。簡単に、衛生面で安心して使用でき、便利なトイレを作成することができた（図1）。

また、長期保存可能で、おいしい保存食の試食会を行った。併せて、「しゅうじつ薬局オリジナル非常持ち出し袋」に含まれる衛生用品と食品を展示・販売した。

参加後のアンケートより、「食」と「トイレ」という子供にも理解しやすい体験を通じて災害について学ぶことができ満足したなど、参加者全員がイベント内容に「満足」との反応を得られ、好評であった。



図1：ダンボールトイレ作成の様子

出 前 授 業

所 属 (学部・学科)	人文科学部 表現文化学科		
タ イ ト ル	身体で伝える 身体が語る		
講 師	岡本 悦子		
日 付	2021年12月15日 13:40~15:20	場 所	岡山県立総社南高等学校
対 象 者	総社南高校人文系2年生	参加人数	約50名
<p>「身体で伝える身体が語る」は、高校「令和3年度人文系講演会」の一環として行われた。コロナ禍の日常で身体を動かす機会が激減した高校生に対して、感染症対策をとりながら、あえて対面で行うを通じたコミュニケーションを図るワークを中心に行った。事後レポートには、自主的に行動を起こす重要性や言葉によらないコミュニケーションへの気づきが多く見られた。</p>			

所 属 (学部・学科)	人文科学部・実践英語学科		
タ イ ト ル	日本とオーストラリアの国際関係		
講 師	J. スコット		
日 付	2021年5月31日	場 所	岡山県立西大寺高等学校 (オンライン)
対 象 者	高等学校1・2年生	参加人数	約80名
<p>(概 要) オーストラリアと日本との交流は19世紀初頭に始まった。この関係は多くの変化を経て現在では両国にとって非常に重要なものとなっている。両国の関係の変化を考えるとともに、その強化に貢献したオーストラリア人と日本人の例をいくつか取り上げた。</p>			

所 属 (学部・学科)	人文科学部総合歴史学科		
タ イ ト ル	イスラームを知ろう		
講 師	井上 あえか		
日 付	2021年 9 月 16 日	場 所	岡山理科大学附属高等学校 (オンライン)
対 象 者	岡山理科大学附属高校通 信制課程1～3年生	参加人数	15名 (うち生徒12名)
<p>(概 要) イスラームの教義、メディアで取り上げられるイスラームに関わることばの意味を解説した上で、アフガニスタン問題やマララ・ユースフザイさんのノーベル平和賞受賞とその背景などについて説明した。イスラームについて聞きたいことを自由に質問してもらい、応答した。</p>			

所 属 (学部・学科)	教育心理学科		
タ イ ト ル	ストレスとうまく付き合おう		
講 師	石原みちる		
日 付	2021年 10月18日	場 所	岡山県立岡山一宮高校
対 象 者		参加人数	40名
<p>(概 要) 毎年行われている保健ロングホームルームにおいて、コロナ禍でのストレスを振り返っていただく参加型の授業を行った。1人1人の違いにも目を向けてもらい、受け取り方や得意な対処の違いに気づいてもらえ、これからも「上手く向き合っていけるかも」といった感想がもらえた。</p>			

所 属 (学部・学科)	教育学部・教育心理学科		
タ イ ト ル	運動と脳の健康		
講 師	森村 和浩		
日 付	2021年 5月 16日	場 所	岡山県立操山高等学校 (オンライン)
対 象 者	岡山県立操山高等学校	参加人数	120名
<p>(概 要) 岡山県立岡山操山高等学校通信課程の1～4年次の生徒を対象として出前講座を行った。本講座は、対面での実施を予定していたが、県内のコロナ感染状況悪化のため本学からインターネットを利用して遠隔での出前講座を実施した。(一部生徒は、密を回避するためオンデマンド受講)</p> <p>講座のテーマは、「運動と脳の健康」として自粛生活等による生活習慣の変化や体や脳(こころ)への影響等も踏まえながら、運動の大切さ、身体の健康だけでは無く、なぜ脳の健康のために運動が必要なのかについて話題を提供し、新しい生活様式の中で、私たちのカラダや脳の健康のためにどんな運動が必要なのか?どのように生活を変えなければ行かないのか?について考えてもらった。</p>			

所 属 (学部・学科)	教育学部・教育心理学科		
タ イ ト ル	こころのピントを合わせよう!～ネガティブ思考脱出法～		
講 師	堀田 裕司		
日 付	2021年 9月 9日	場 所	岡山理科大学附属高等学校 (※オンライン)
対 象 者	高校生(通信制課程)	参加人数	
<p>(概 要) 物事の捉え方は十人十色ですが、いつもなぜか悪い方向に解釈してしまうクセがある人も多いと思います。そんなクセを「現実に即した方向に修正していく」という作業を一緒にしていきます。</p>			

所 属 (学部・学科)	薬学部薬学科		
タ イ ト ル	科学系、医療系を目指す人たちへのキャリア教育		
講 師	中西 徹		
日 付	2021年10月15日	場 所	倉敷高等学校
対 象 者	倉敷高等学校	参加人数	
<p>(概 要) 科学系、医療系を目指す生徒さん約200名を対象に、仕事の実際の内容やこれらの職業への道筋、大学での勉強内容、高校で準備しておくことなど、自身の体験も含めてお話した。また、やり抜く力GRITを身に付ける方法も実技を含めて伝授した。生徒さんにも担当の先生にも熱心に話を聴いていただいた。</p>			

所 属 (学部・学科)	幼児教育学科		
タ イ ト ル	『先生』と呼ばれる人をめざすということ ～これからの時代に求められる教師・保育士～		
講 師	小谷彰吾		
日 付	2021年9月25日	場 所	岡山県立勝山高等学校
対 象 者	高校1.2年生	参加人数	40名
<p>(概 要) 近年、続けて名前指定で要望をいただいている。 残念ながら、オンライン講座となり、しかも、業者の不手際でシステム上のトラブルに見舞われ、前半10分が講義として使用できなかったにもかかわらず強行された。 前年度よりもさらに一歩進んだ「生き方」「考え方」のヒントとして「仕事」「働く」を考える講座となるよう授業を展開した。</p>			

学外組織との連携・協働

主	催	人文科学部 実践英語学科		
タ	イ	トル	林原美術館との連携協定に基づく英語翻訳の取り組み	
実	施	者	武部好子 (実践英語学科)・浅利尚民 (表現文化学科)	
日	付	2021年12月6日	場	所 本学 R301
対	象	者	林原美術館・本学学生	参加人数 22名

概要 (本文・写真・図等)

本学人文科学部と一般財団法人林原美術館との連携協定に基づいて、昨年度に引き続き『林原美術館名品選』解説文の英語への翻訳作業および解説会を行いました。

現在『林原美術館名品選』掲載の解説文について、人文科学部実践英語学科武部好子准教授の指導のもと後期授業「翻訳演習2」の課題として、実践英語学科19名の受講生が切磋琢磨しながら、日本語から英語への翻訳を進めています。

この林原美術館との連携協定に基づく英語翻訳の取り組みの一環として、2021年12月6日(月)、「翻訳演習2」のクラスに林原美術館の橋本龍主任学芸員をお招きし『林原美術館名品選』解説文の英語への翻訳作業に取り組む受講生に対して、作品の歴史的・芸術的側面や魅力について映像を通してご説明頂き、受講生一人一人からの語句の解釈に関する質問にも丁寧にご回答頂きました。

各作品には色彩豊かな美しい絵が微細に描かれており、2018年度は「お皿」、2019年度は「屏風」、2020年度は「能装束」の作品解説文を翻訳しましたが、今年は江戸時代の「櫛」に焦点を当てました。毎年、扱う作品は異なりますが、講師の方の熱意と受講生との地道な取り組みは変わらずに継続しております。

ご協力くださった林原美術館の橋本龍主任学芸員、表現文化学科の浅利尚民准教授と実践英語学科の受講生の皆様に感謝致します。



主	催	人文科学部 実践英語学科		
タ	イ	トル	岡山県立博物館との連携協定に基づく英語翻訳の取り組み	
実	施	者	武部好子 (実践英語学科)・浅利尚民 (表現文化学科)	
日	付	2021年6月28日	場	所 本学 R301
対	象	者	参加人数	26名
		岡山県立博物館・本学学生		

概要 (本文・写真・図等)

本学人文科学部と岡山県立博物館との連携協定に基づいて、展示キャプションの英語への翻訳作業および解説会を行いました。

現在、外国人観光客にも人気の高い日本刀の解説文について、人文科学部実践英語学科武部好子准教授の指導のもと前期授業「翻訳演習1」の課題として、実践英語学科22名の受講生が互いに研鑽しながら、日本語から英語への翻訳を進めています。

この岡山県立博物館との連携協定に基づく英語翻訳の取り組みの一環として、2021年6月28日(月)、「翻訳演習1」のクラスに岡山県立博物館の横山定氏と西垣江利子氏をお招きし、歴史的背景や製造工程など作品の見どころについて興味深い解説を行って頂き、受講生一人一人からの活発な質問にも分かりやすくご回答頂きました。大学で行う自分達の翻訳が実社会で展示される可能性がある点は、受講生の探求心や地域貢献意欲を高めています。

ご協力くださった岡山県立博物館の横山定氏と西垣江利子氏、表現文化学科の浅利尚民准教授と実践英語学科の受講生の皆様に感謝致します。



主	催	岡山県現代舞踊連盟、岡山県、(公社)岡山県文化連盟、おかやま県民文化祭実行委員会		
タ	イ	ト	ル	第19回おかやま県民文化祭 君たちのみらいへ！プログラム 「創る踊る観る現代舞踊まなびの発表会2021」
実	施	者	岡本悦子（岡山県現代舞踊連盟顧問）	
日	付	2021年11月14日(日)	場	所 オルガホール
対	象	者	現代舞踊創作者&ダンサー・一般の鑑賞者	参加人数 50名

概要（本文・写真・図等）

第19回おかやま県民文化祭 君たちのみらいへ！プログラム企画として、岡山県現代舞踊連盟では、「創る踊る観る現代舞踊まなびの発表会2021」を企画運営した。

本企画は、現代舞踊に向き合い、深めていく場を提供し、今活躍中の舞踊家の作品鑑賞によって優れた芸術に触れることで、次世代を担う子供たちに豊かな創造性、感性等を育むことを目的としている。

それらが青少年の健全な育成にも繋がることになり、芸術・文化の発展に結びつくと考えます。

この発表会は現代舞踊の発表と各作品に対するアドバイス、一流作品の鑑賞を行うものである。一般公募により現代舞踊作品（ソロを含む少人数作品）を募り、発表する場を提供した。

国内外で活躍する舞踊家（多田慶子氏・田中朝子氏）を迎え、1作品ごと作品についてその場でアドバイスや指導を受けた。すべて公開で行うため、見学者はアドバイスのやり取りや表現意図を聞くことができた。また、プロダンサーの田中朝子氏によるデモンストレーション作品を鑑賞するなど、創る踊る観る側双方が現代舞踊を深め、学ぶ機会となった。



主 催	人文科学部 博物館学芸員課程		
タ イ ト ル	岡山県立博物館との連携協定に基づく特別講義の開催		
実 施 者	浅利尚民（博物館学芸員課程）		
日 付	2021年11月27日	場 所	本学図書館5階 (博物館実習・504号室)
対 象 者	本学学生・教職員	参 加 人 数	31名

概要（本文・写真・図等）

本学人文科学部と岡山県立博物館との連携協定に基づいて、2021年11月27日（土）に博物館学芸員資格課程の4年生と本学関係者を対象として、甲冑の取扱いに関する特別講義を行いました。

講師をつとめていただいたのは同館の横山定氏で、前半は大鎧・胴丸・腹巻・腹当・当世具足等の特徴についての講義が行われました。後半はこの講義のために搬出していただいた、同館所蔵の幕末期の具足を前にして、細かい部分を見たり触ったりしながら、実物に則して学びました。中には兜をかぶったり、具足を実際に身に付けたりして、甲冑の重さを体験することができた学生もあり、充実した特別講義になりました。

このような学びの機会を与えていただいた、岡山県立博物館と横山氏に心から感謝いたします。



主 催	岡山市立御津公民館		
タ イ ト ル	「第10回 御津防災キャンプ 作って♪遊んで♪学ぼうさい」の参加		
実 施 者	岡山市立御津公民館・就実大学社会教育主事課程（担当：中塚朋子）		
日 付	2021年11月27日	場 所	岡山市立御津公民館
対 象 者	地域住民(対象:小学3年以下の児童と保護者)	参 加 人 数	参加者多数

概要（本文・写真・図等）

2021年11月27日に、社会教育主事課程の科目（社会教育演習Ⅰ・Ⅱ）の授業の一環として、岡山市立御津公民館で開催されている「御津防災キャンプ」に参加しました。御津防災キャンプは、昨年度から幼児や小学校3年生以下の児童とその保護者を対象とした、楽しみながら防災について学ぶイベントとして実施されています。参加者は、各ブースをまわり防災学習を受けるとシールが獲得できます。そして、集めたシールの数に応じて関連グッズを入手することができる構成になっています。

御津防災キャンプへの参加は今回で2回目です。大学生として防災について学ぶブースやパフォーマンスをグループごとに企画・準備を行い、当日実施しました。企画は、前期（社会教育演習Ⅰ）の授業において、個人で立案・発表した企画を発表し、投票によって上位3つを選定しました。本年度は、①「防災射的 君の一発で救い出そう」、②「落とさず運べ！てづくり簡易担架体験」、③「防災レンジャー」という企画となりました。

選定した企画案を前期の終わりにグループごとで練り直し、後期（社会教育演習Ⅱ）の授業で実施にむけた具体化と準備を進めました。御津公民館職員である小楨氏や二宮氏、消防局職員でありまちの防災屋さん（クアトロ・シクロ）主催者である大川氏にもゲスト講師に数回お越しいただき助言をいただきました。他方で、防災教育と社会教育について文献（野元弘幸編著、2018、『社会教育における防災教育の展開』大学教育出版、矢守克也・諏訪清二・船木伸江著（2007）『夢見る防災教育』晃洋書房）を輪読し、国内外のさまざまな災害の事例を通して、社会教育の関わりに関する理論や実践について学習しました。

当日は想定していた通りには運ばない場面もあり、学生たちは入念な準備のみならず臨機応変な対応が現場で求められることを実感したようです。また、世代を越えた住民同士の交流に主体的に参加することにより、地域づくりや地域における学習活動への関心を深めていました。



防災射的 君の一発で救い出そう



落とさず運べ！てづくり簡易担架体験



防災レンジャー

主	催	岡山市立御津公民館		
タ	イ	トル	「多文化カフェ」の参加と地域に住む外国人へのインタビュー調査	
実	施	者	岡山市立御津公民館・就実大学社会教育主事課程（担当：中塚朋子）	
日	付	2021年11月28日	場	所 岡山市立御津公民館
対	象	者	参加人数	22名
外国人住民、日本語教師 地域住民、本学学生				
概要（本文・写真・図等）				
<p>2021年11月28日に、社会教育主事課程の科目（生涯学習支援論Ⅰ・Ⅱ）の授業の一環として、岡山市立御津公民館で開催されている多文化カフェに参加しました。また昨年度に続き、日本語教室の講座に参加する外国人の若者たち（中級クラス5名）にインタビュー調査を実施しました。</p> <p>多文化カフェは、御津公民館で毎週日曜に行われる日本語教室に通う外国人の住民が、地域住民と軽食をともにしながら交流を行う月に1度の取り組みです。新型コロナ感染拡大防止に留意しつつ実施しました。ホットドッグとスープを傍らに、野外の中庭でグループごとに歓談しました。リラックスした雰囲気の中で、自己紹介や個々の興味・関心について談話することができたようです。その後、からだを動かしながら楽しむゲームとしてしっぽ取りゲームを行いました。</p> <p>インタビュー調査は、事前に前期から準備を進め、実施しました。あらかじめ昨年度の調査報告書を検討し、その課題や視点を明らかにし、調査設計を行いました。公民館の活動、日本語の学習、御津地域のこと、現在の仕事、日本のことや生活、母国（出身地）のこと、新型コロナウイルス感染拡大の影響、情報の収集・伝達、今後や将来のこと、学生への質問などを外国人の方々にあずねました。最後に受けた外国人の方々からの真剣な質問に、学生たちは戸惑いつつも自らの生活やこれからの振り返り、考えを述べる場面が印象的でした。</p> <p>後日、学生たちは録音した音声データを分担してトランスクリプトを作成し、インタビュー・データの考察を行いました。その考察は報告書としてまとめ、授業で発表しました。学生たちの考察をうけて、今後の取り組みに関するアイデアを得ることができました。次年度も同様の取り組みを行う場合は、「インタビューする側／される側」という形式の調査法だけではなく、別のアプローチも開発していく必要があると感じました。相互に交流を深めつつ、外国人の若者たちの考えや実情を明らかにするために、（1）相互に質問や意見が出し合えるような座談会形式で実施し、その記録を分析する、あるいは（2）ワークショップ形式でいくつかのテーマで話し合う様子を撮影・記録し、その内容ややりとりを分析するなどの方法も検討したいと思います。</p>				
				
				
				

主	催	科学キッズフェスティバル実行委員会		
タ	イ	科学キッズフェスティバル in 京山祭		
	ト	就実大学「身近なもので電池を作ってみよう！」		
ル				
実	施	者	加藤久登、増田和文	
日	付	2021年12月12日(日)	場	所 岡山県生涯学習センター
対	象	者	参加人数	118名

概要(本文・写真・図等)

12月12日(日)岡山県生涯学習センターにて開催された「科学キッズフェスティバル in 京山祭」に『身近なもので電池を作ってみよう!』をテーマに出展した。コロナ感染症対策を徹底し、午前・午後それぞれ予約制とする中、幼児～小学低学年生約64名(午前29名、午後35名)、その保護者54名(午前22名、午後32名)の計118人が出展ブースを訪れ、スライム電池(材料:ホウ沙、PVA洗濯のり、銅板、アルミ板)、木炭電池(材料:木炭、アルミ箔、食塩水)作りの体験及び電池の原理を学習した。スライムが電池の材料となって、電子オルゴールを鳴らすことができたり、身近な木炭・アルミ箔・食塩水だけで、モーターを回すことができたりする意外性にインパクトがあり、保護者にも大変好評であった。また、研究室の5年生2名も参加し、実験体験の説明や保護者への対応など学外研修としても非常に有意義であった。

なお、このイベントには、19の団体(コロナ禍の影響で例年の半数)が出展しており、内訳は大学(4)、中学・高校・専門学校(2)、企業(2)、その他NPO法人等(11)、またテーマも「風船ワールドと空気砲」(人と科学の未来館サイピア)、「歯を科学する!」(岡山大学歯学部)、「三菱電動車両の電動車両で便利な給電機能」(西日本三菱自動車)、「サッカーロボットのプログラム体験」(岡山ロボット技術子供育成協会)、「ワクワクドキドキを顕微鏡で見よう!」(岡山コケの会)など幅広く様々であった。



主 催	岡山県薬剤師会		
タ イ ト ル	岡山市及び総社市の新型コロナワクチン集団接種における協働		
実 施 者	薬学部（島田憲一、加地弘明、田坂祐一、石崎厚、松尾美奈子、吉井圭佑、徳永智典）、附属薬局（松本かおり、西山典子）		
日 付	2021年5月～現在	場 所	岡山市及び総社市の集団接種会場
対 象 者	ワクチン接種希望者	参 加 人 数	多数

概要（本文・写真・図等）

岡山県薬剤師会（岡山支部及び吉備支部）からの依頼を受けて、新型コロナウイルスのワクチン集団接種会場における薬剤調製業務を行った。期間は令和3年の5月から現在（令和4年2月時点）も継続して行われており、薬剤師免許を有する教員が病院・調剤薬局の多くの薬剤師と協力して業務に従事した。調製に使用したワクチンは接種時期によって異なり、ファイザー社及びモデルナ社の薬剤を使って1日で最大約2000人分のワクチンの調製を行い、監査して払い出しを行った。会場では医師や看護師、市のスタッフとも連携して接種に関して遅延することなく薬剤を準備した。

現在も続くワクチンの調製業務であるが、将来の薬剤師を育てる立場として公衆衛生の観点からも引き続き貢献していく考えである。



主	催	岡山参加型ミュージカル実行委員会(代表 壽谷静香)		
タ	イ	ト	ル	キラキラ星のコンサート
実	施	者	岡山県立大学 安久津、就実大学 中西(徹), 中西(裕), 岡田 他	
日	付	2021年11月23日	場	所
対	象	者	参加人数	300名

概要 (本文・写真・図等)

ベルフォーレ津山 (津山市新魚町) で、11月23日(火)に親子向けイベント「キラキラ星のコンサート」が開催された。岡山フィルハーモニック管弦楽団弦楽四重奏団をゲストに迎え、美作大学児童学科、短大幼児教育学科の教員、学生、岡山県立大学、就実大学などから教員が参加した。

就実大学からは薬学部中西徹が天体と音楽の話、人文科学部中西裕が電子テクノロジーと音楽のコラボレーション、教育学部岡田信吾が運営で参加した。美作大の学生による手遊び歌や同大教員による歌のコンサート、オノマトペのワークショップなどの楽しい出し物もあり、当日は約300名の親子連れが会場であつろいだ休日をお過ごした。



主	催	人と科学の未来館サイピア			
タ	イト	ル	部分月食観望会		
実	施	者	就実大学天文部		
日	付	2021年11月19日	場	所	人と科学の未来館サイピア
対	象	者	一般	参加人数	20名

概要（本文・写真・図等）

11月19日（金）に岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピアにおいて、部分月食観望会を開催した。当日は17時過ぎから、サイピアの職員と共同で就実大学天文部顧問 中西（薬学部）と天文部学生がサイピアのテラスに設置された望遠鏡や持参した機材を用いて、来訪した一般の方向けに部分月食の観望の手伝いや解説を行った。また月食の写真撮影やビデオ撮影を行った。既に月は月の出の時点で欠けており、最大98%まで欠けるほぼ皆既月食と言えるもので、当日は晴天にも恵まれて、美しい月食を観望できた。天文王国おかやまのスタッフの方も来訪されて、当日の観望会の様子を取材された。18時半-19時で観望会を終了した。



（左）最大98%欠けた月

（右）就実大学天文部（背景に月）

主	催	就実短期大学幼児教育学科		
タ	イ	ト	ル	潜在保育士復職支援研修会&リカレント（学び直し）教育研修会
実	施	者	就実短期大学潜在保育士復職支援プロジェクト	
日	付	2021年8月23・25・26日	場	所 本学（オンライン）
対	象	者	潜在保育士、現職の保育者、子育て支援に携わっている方	参加人数 22名 (延べ申込受講講座数66件)

概要（本文・写真・図等）

岡山県保健福祉部の「令和3年度保育士養成施設連携強化事業（保育士就業支援及び離職防止）」の委託を受け、若手保育士の就業継続や復職支援を目的に実施した。

日程と申込件数は以下に示す通りである。

日程	講義内容（講師）	申込件数	講義内容（講師）	申込件数
8/23（月）	特別支援（鎌田）	19	赤ちゃん体操（松本）	16
8/25（水）	保育者論（小谷）	6	情報交換会	4
8/26（木）	社会福祉（土田）	6	声楽（ズビャーギナ）	8
8/30（月）	就実こども園での体験実習 →中止			3
9/4（土）	就実こども園での体験実習 →中止			4

当初、対面での研修会実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、オンライン研修と紙面研修の併用開催として実施した。一方で、就実こども園での体験実習は中止とした。「情報交換会」では、岡山県保育士・保育所支援センターからコーディネーターを招聘し、県や自治体の支援体制についても説明をしていただいた。

○研修会の様子



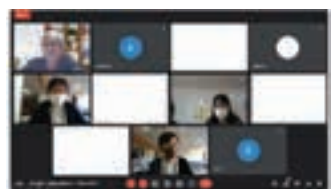
特別支援



赤ちゃん体操



保育者論



情報交換会



社会福祉



声楽

今回、初めてのオンラインでの研修会を実施したが、ほとんどの参加者が「満足」「やや満足」と回答した。今後も保育者に必要な知識・技術の向上を目指した研修会を実施し、保育者の離職防止及び潜在保育士への就業支援を行っていききたい。

主 催 者	薬学部 附属薬局、後楽館中学校		
タ イ ト ル	中学生 職場体験学習		
実 施 者	薬学部 附属薬局		
日 付	2021年11月30日 12月1日 12月2日	場 所	本学薬学部 附属薬局
対 象 者	後楽館中学2年生	参加人数	2名

概要（本文・写真・図等）

附属薬局は今年度から中学生向けの職場体験学習の受け入れを開始し、まず後楽館中学校の2年生2名を3日間受け入れた。

薬局薬剤師の仕事を学ぶために、学生は以下の内容を体験した。

- 1日目：施設案内、薬局の業務内容・薬剤師と登録販売者の業務の説明、
処方箋受付や初回問診票の案内などのカウンター業務体験、
調剤体験（計数調剤、計量調剤、一包化調剤など）
- 2日目：カウンター業務体験、模擬処方箋の入力、薬袋・薬情準備、調剤体験（計数調剤、
計量調剤、分包機の使用など）、服薬指導の見学
注射薬の調製模擬体験（図1：コロナワクチン希釈の方法に倣って）
- 3日目：学校薬剤師・災害時の薬剤師の役割についての講義、調剤体験（計数調剤、計量調剤）
体験学習のまとめ

今回参加した2名の学生は将来薬剤師を目指しており、現場の薬剤師に職業意識や学びのポイントをインタビューし（図2）、薬剤師の業務を現場で体験することで、夢をかなえるために学習意欲が高まった様子だった。



図1 注射薬の調製模擬体験



図2 調剤室にて

主	催	岡山市立御津公民館						
タ	イ	ト	ル	日本語教室（中級）				
実	施	者	野村 照代					
日	付	2019年10月～現在	場	所	岡山市立御津公民館			
対	象	者	外国人技能実習生他	参	加	人	数	2名～5名（N3, N2 レベル）

概要（本文・写真・図等）

本学人文科学部と相互連携協定を締結している岡山市立御津公民館において、毎月第2、第4日曜日に日本語教室で日本語教師ボランティア補助を行っている（有資格者）。学習者の方は、近隣の企業の技能実習生、エンジニア、日本人の配偶者等で、日本語力は初級から上級まで、N5レベルからN1レベルまでと幅広い。2021年度は中級を担当した。ベトナム、インドネシア、中国等から来日しており、仕事や生活のために日本語を習得しなければならないため、非常に熱心に学習される。

2021年も新型コロナウイルス感染症予防として、消毒、換気、アクリル板の設置等対策を講じて行った。

毎月第4日曜日の授業終了後に開催される交流会「多文化カフェ」では、学習者の方に母国の料理を作ってもらったり、持ち寄ってもらって、みんなで試食し、相互で料理の文化を教え合ったりし、授業とともに楽しみながら学習している（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止とした月もあった）。地域住民や県下の国際交流関係者も参加し、交流も活発である。

本学の社会教育主事課程の学生もこの間に感染予防対策を徹底した上で、屋内外で「多文化カフェ」に参画し、学習者の方へのインタビューを行った。

インタビューの際はオブザーバーとして参加し、学生に助言を行った。

【写真左】 ある日の授業風景

【写真中央・右】 2021年末「多文化カフェ」では、餅つきを行った。つきたての餅を三種類の鍋で楽しんだ。コロナ禍中において交流できたことは、公民館職員の方が感染防止対策を十分にとり、様々な面で配慮、尽力してくださったお蔭である。感謝！



主 催	(公社) 日本女子体育連盟・岡山県女子体育連盟 (両性に開かれた実態から、通称を Okayama Dance Life Network としている)		
タ イ ト ル	第 15 回ダンスムーブメントセミナー		
実 施 者	岡本 悦子 (岡山県女子体育連盟 ODLN 会長)		
日 付	2022 年 2 月 19 日 20 日	場 所	就実大学
対 象 者	生涯スポーツ・学校体育の指導者と学生	参 加 人 数	オンライン 124 名

概要 (本文・写真・図等)

公益社団法人日本女子体育連盟と岡山県女子体育連盟で主催する「ダンスムーブメントセミナー」は、生涯スポーツ・学校体育の振興に寄与する人材育成を目指す全国規模のダンス指導者講習会である。第 15 回セミナーの企画・運営は岡山県連盟が担当した。当初は昨年度 (2021 年) 2 月の開催を予定していたが、コロナ禍により 1 年延期して、2021 年度 (2022 年) 2 月 19, 29 日に開催した。講習内容は、①舞踊教育講義、②学校体育実技講習、③生涯体育実技講習、④インクルーシブダンス講習であった。講師は、本部講師 3 名を含む 7 名でそのうち岡本も学校体育実技講習を担当した。新型コロナウイルスの感染拡大により、「対面講習」から「ハイブリッド」、最終的には「全面オンライン」と度々開催方法を切り替えざるを得ず、途中でキャンセルも出るなど、運営は困難を極めたものの、最終的には、全国の受講者から「オンラインでここまで充実した実技講習と交流を楽しめるものか」という驚きと感謝の声が多数届けられ、安堵した。未だ実施後間もないため、真の総合的評価については時間を待つ必要があるが、オンラインで丸二日間の実技講習を全国に配信するという緊張を伴う事業を協働することによって県内のメンバーの連携がより強く形成されたことは、岡山県の指導者育成組織にとって力強い礎となったと考える。



主 催 者	DANCE ALIVE 実行委員会		
タ イ ト ル	コロナ禍における DANCE ALIVE の新しい展開 DANCE ALIVE+CAFÉ , ダンスワークショップ「同じ空の下」		
実 施 者	DANCE ALIVE 実行委員会 (代表: 岡山県立大学新山順子先生・岡本は実行委員)		
日 付	2022 年 1 月 22 日, 2 月 12 日、27 日、3 月 5 日	場 所	岡山県立大学
対 象 者	ダンス経験者	参 加 人 数	15 名
<p>概要 (本文・写真・図等)</p> <p>我々DANCE ALIVE 実行委員会は、大学卒業後も現代舞踊などの創作表現に地域で継続して取り組めるように、2016 年度より実行委員会形式で DANCE ALIVE(ダンスアライヴ)の活動を開始した。主事業として年に 1 回の現代舞踊公演を行ってきたが、コロナ禍のため 2019 年度を最後に公演の開催はできていない。これまで積み上げてきた活動やダンスによる交流が途切れないように、新たな取組みの模索を始めている。</p> <p>【取組みの概要】 2021 年度は「DANCE ALIVE+ CAFÉ」と「ダンスワークショップ」の 2 つの事業に取り組んだ。1. DANCE ALIVE+CAFÉ この取組みは、2019 年度までの公演のうち上演作品の中から作品を幾つか選び、映像を見ながらテーマや作品創作の方法などについて作者に語ってもらい、参加者はそれを聴くという会である。2021 年 12 月に開催し、3 つの作品を上映して対話を深めることができた。作者自身による振り返りの言語化を通して貴重な学びと交流の機会になったと考えられる。2. ダンスワークショップ「同じ空の下」 この取組みは、舞台活動を躊躇している人を如何に取り込んでいくかという課題解決として着手されたものである。「ダンスを踊りたいが作る時間がない」人のために、実行委員が受け皿となる作品を作り、円滑な舞台発表へと繋げていく試みである。実行委員の矢鳴氏により、2022 年 1 月から 4 回のワークショップを開催した。講師: 矢鳴孝一郎・矢鳴千奈美</p>			

主	催	東北大学研究推進・支援機構 知の創出センター	
タ	イト	ル	コンタクトインプロヴィゼーションワークショップと学際的フォーラム：体の動きによる非言語的コミュニケーション
実	施	者	岡本悦子（フォーラムのゲストスピーカーとして招聘）
日	付	ワークショップ 2022年3月26・27日, フォーラム 3月28日	場 所 東北大学電気通信研究所
対	象	者	非言語コミュニケーションに関心のある研究者・学生・大学院生. 特に認知科学、芸術、心理学、ヒューマンロボットインタラクション、リハビリテーション、または学際的な研究者
		参 加 人 数	未定

概要（本文・写真・図等）

東北大学研究推進・支援機構 知の創出センターは、非言語コミュニケーションを研究するために、国際的かつ学際的な研究グループを率いており、研究者やコミュニティのメンバーを招待して、芸術的実践と科学的研究を結び付ける無料の活動を継続している。

*2021年度の企画は添付チラシの通りである（実施自体は3月末のため、ここでは予定の報告となる）。



各種学外委員会の応嘱

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	教授	氏 名	川崎 剛志
内 容	①国文学研究資料館 地域資料専門部会委員 ②日本山岳修験学会 理事 ③仏教文学会 委員 ④国際熊野学会 委員 ⑤国宝智証大師関係文書典籍保存活用専門委員会 委員				
期 間	①2018年4月1日～現在 ②2011年10月1日～（評議員）、2013年10月1日～現在（理事） ③2020年4月1日～現在 ④2018年4月1日～現在 ⑤2021年12月～現在				

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	教授	氏 名	岡本 悦子
内 容	①岡山県女子体育連盟会長 ②岡山県現代舞踊連盟顧問 ③子どもの社会参加を考える会in京山（通称チューリップの会）副会長 ④桜蔭会（お茶の水女子大学同窓会）岡山支部長				
期 間	①2012年4月1日～現在 ②2002年～理事、2005年～副会長、2009年～2011年会長、2012年～顧問 ③2008年～現在 ④2021年～				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	准教授	氏 名	浅利 尚民
内 容	①閑谷学校研究委員会委員 ②尾道市史編集委員会文化財専門部会執筆者 ③岡山県文化財保護協会理事 ④倉敷市立美術館美術資料選考評価委員				
期 間	①2009年4月1日～現在 ②2018年4月1日～現在 ③2020年9月14日～現在 ④2021年12月1日～現在				

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	講師	氏 名	丸井 貴史
内 容	①国文学研究資料館 地域資料専門部会委員 ②日本近世文学会 委員 ③和漢比較文学会 理事 ④日本文学協会 委員 ⑤日本文学協会 運営委員				
期 間	①2018年4月1日～現在 ②2020年8月1日～現在 ③2021年10月1日～現在 ④2021年12月1日～現在 ⑤2021年12月1日～現在				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	講師	氏 名	瓦井 裕子
内 容	①和歌文学会委員				
期 間	①2020年12月～現在				

所 属	人文科学部実践英語学科	職 位	教授	氏 名	小山 敬一
内 容	①地域との協働による高等学校教育改革事業【グローバル型】（対象校：岡山城東高校）助言者 ②ケンブリッジ教員研修成果発表(研究授業)（対象校：岡山大安寺中等教育学校）指導講師				
期 間	①2021年4月1日～2022年3月31日 ②2021年9月1日～2022年3月31日				

所 属	人文科学部 総合歴史学科	職 位	教授	氏 名	吉本 勇
内 容	①立正地理学会 会長 ②地域地理科学会 副会長（元会長） ③日本都市学会 監事				
期 間	①2020年6月1日～現在 ②2019年6月30日～現在 ③2019年10月26日～現在				

所 属	人文科学部総合歴史学科	職 位	准教授	氏 名	松崎 博子
内 容	①岡山市社会教育委員				
期 間	①2021年10月1日～2023年9月30日				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教授	氏 名	楠 博文
内 容	①岡山県小学校教育研究会岡山支会算数部会 顧問 ②新興出版社啓林館 教科書協力著者				
期 間	①2016年4月1日～現在 ②2018年4月1日～2022年9月30日				

所 属	教育学部初等教育学科	職 位	教授	氏 名	門原 眞佐子
内 容	①令和3年度岡山県・岡山市教員等育成協議会委員				
期 間	①2021年10月28日～2022年3月31日				

所 属	教育学部初等教育学科	職 位	教授	氏 名	小西 淳子
内 容	①岡山市問題行動等対策委員会委員				
期 間	②2021年6月1日～2023年5月31日				

所 属	教育学部初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	村田 恵子
内 容	①社会福祉法人閑谷福祉会評議員 ②社会福祉法人弘徳学園評議員 ③社会福祉法人弘徳学園第三者委員				
期 間	①2021年6月22日～2025年定時評議員会終結時まで ②2021年6月19日～2025年定期評議員会の終結時まで ③2021年6月19日～2023年定期評議員会の終結時まで				

所 属	教育心理学科	職 位	教授	氏 名	石原 みちる
内 容	①岡山市学校問題解決サポート事業 専門相談員 ②岡山県教育委員会スクールカウンセラー配置事業 スーパーバイザー				
期 間	①2021年4月1日～令和4年3月31日 ②2021年4月1日～令和4年3月31日				

所 属	教育学部教育心理学科	職 位	教授	氏 名	桑原 晴子
内 容	①一般社団法人岡山県薬剤師会倫理審査委員会委員				
期 間	①2021年6月1日～2023年5月31日				

所 属	教育学部教育心理学科	職 位	准教授	氏 名	森村 和浩
内 容	①日本体力医学会評議員				
期 間	①2019年9月20日～現在				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	講師	氏 名	井芹 聖文
内 容	①公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会臨床心理士養成のための大学院専門職学位課程判定委員会幹事 ②岡山県警察犯罪被害者等カウンセリングアドバイザー ③岡山県教育委員会スクールカウンセラー配置事業におけるスーパーバイザー				
期 間	①2021年4月1日～2022年3月31日 ②2019年9月1日～現在 ③2020年4月1日～現在				

所 属	経営学部経営学科	職 位	教授	氏 名	野本 明成
内 容	①岡山市公の施設指定管理候補者選定委員会委員				
期 間	①2020年6月17日～2021年6月16日				

所 属	経営学部経営学科	職 位	教授	氏 名	古塚 秀夫
内 容	①中国地域ニュービジネス対象表彰制度にかかわる審査会委員				
期 間	①2021年8月1日～2022年4月30日				

所 属	経営学科	職 位	教授	氏 名	林 俊克
内 容	①岡山市経済政策審議会委員 ②令和3年度WWL（ワールドワイドラーニング）コンソーシアム構築支援事業運営指導委員会委員				
期 間	①2020年11月15日～2022年11月14日 ②2021年08月19日～2022年03月31日				

所 属	経営学部経営学科	職 位	教授	氏 名	宮前 善充
内 容	①（仮称）美咲町多世代交流拠点整備事業計画・施工業務 公募型プロポーザル審査委員会委員				
期 間	①2021年7月26日～2022年3月31日				

所 属	経営学部経営学科	職 位	講師	氏 名	小柳 智裕
内 容	①方谷研究会 代表 ②方谷研究会 理事 ③方谷研究会 企画委員会 委員長 ④方谷研究会 調査・研究委員会 委員長 ⑤日本インテリア学会 アーカイブ化委員会 委員 ⑥日本インテリア学会 大会 実行委員				
期 間	①2021年4月～2022年3月 ②2012年6月～2022年3月 ③2020年10月～2022年3月 ④2020年10月～2021年10月 ⑤2018年7月～現在 ⑥2021年度				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	講師	氏 名	大塚 祐一
内 容	①岡山市女性活躍推進協議会副座長 ②岡山県人権政策審議会 委員				
期 間	①2020年4月1日～2022年3月31日 ②2022年3月17日～（任期2年）				

所 属	薬学部	職 位	教授	氏 名	洲崎 悦子
内 容	①津山洋学資料館 協議会委員				
期 間	①2010年4月1日～2022年3月31日(予定任期)				

所 属	薬学部	職 位	教授	氏 名	片岡 洋行
内 容	<p>①薬学教育協議会分析化学系教科検討委員会委員</p> <p>②Analytica Chimica Acta: Editorial Advisory Board member (Elsevier)</p> <p>③Analytical Chemistry Letters: Editorial Board (Vinayak-Graphics)</p> <p>④Journal of Environmental & Analytical Toxicology: Editorial Board Member (OMICS)</p> <p>⑤日本分析化学会中国四国支部幹事</p> <p>⑥おかやまバイオアクティブ研究会幹事</p> <p>⑦Analytical Methods in Chemistry Editorial Board Member (Hindawi)</p> <p>⑧Editorial Board Member of Chromatography (Japan)</p> <p>⑨クロマトグラフィー科学会評議員</p> <p>⑩Editorial Board Member of Journal of Translational Biomarkers & Diagnosis (SciDoc)</p> <p>⑪Editorial Board Member of Journal of Bioanalytical Techniques (Sciforschen)</p> <p>⑫岡山県薬事審議会委員、2021年度～副会長</p> <p>⑬Editorial Board Member of Journal of Biochemistry and Analytical Studies (Sciforschen)</p> <p>⑭Editorial Advisory Board Member of Journal of Chromatography A (Elsevier)</p> <p>⑮岡山県後発医薬品の安心使用のための協議会会長</p> <p>⑯Editorial Board Member (Academic Editor of Analytical Section) of Molecules (MDPI)</p> <p>⑰Associate Editor of Frontiers in Environmental Chemistry (Frontiers)</p> <p>⑱大学基準協会大学評価分科会委員 (主査)</p> <p>⑲岡山県立大学保健福祉学部外部評価委員</p> <p>⑳日本分析化学会第71年会 (2022年9月開催) 副実行委員長</p>				
期 間	<p>①2003年4月1日～現在</p> <p>②2009年1月1日～現在</p> <p>③2011年1月1日～現在</p> <p>④2011年4月1日～現在</p> <p>⑤2011年4月1日～現在</p> <p>⑥2011年4月1日～現在</p> <p>⑦2011年11月1日～現在</p> <p>⑧2012年4月1日～現在</p> <p>⑨2012年4月1日～現在</p> <p>⑩2015年10月1日～現在</p> <p>⑪2015年10月1日～現在</p> <p>⑫2015年4月1日～現在</p> <p>⑬2017年1月1日～現在</p> <p>⑭2018年5月1日～現在</p> <p>⑮2018年10月1日～現在</p> <p>⑯2018年11月1日～現在</p> <p>⑰2020年1月1日～現在</p>				

⑮2020年4月1日～現在 ⑯2020年12月24日～現在 ⑰2021年6月～現在

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	見尾 光庸
内 容	①大学コンソーシアム岡山運営委員 ②大学コンソーシアム岡山将来構想委員会委員 ③大学コンソーシアム岡山社会人教育委員会委員 ④薬学教育協議会薬理学関連教科担当教員会議委員 ⑤日本私立薬科大学協会薬剤師国家試験問題検討委員会薬理学部会委員 ⑥日本ヒスタミン学会事務局長 ⑦Council member of European Histamine Research Society ⑧ Guest Associate Editor for Experimental Pharmacology and Drug Discovery, Frontiers in Pharmacology ⑨Associate Editor for Anti-inflammatory and Immunomodulating Agents, Frontiers in Drug Discovery				
期 間	①2018年4月1日～継続中 ②2018年4月1日～継続中 ③2018年4月1日～継続中 ④2003年度～継続中 ⑤2007年度～継続中 ⑥2011年11月～継続中 ⑦2018年5月～継続中 ⑧2018年10月～継続中 ⑨2021年11月～継続中				

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	中西 徹
内 容	①岡山県環境放射線等測定技術委員会委員 ②NPO ヘルスサイエンス地域国際センター理事 ③日本軟骨代謝学会評議員 ④日本生化学会評議員 ⑤硬組織再生生物学会理事 ⑥日本食品衛生学会理事 ⑦おokayamaバイオアクティブ研究会役員・企画委員 ⑧おokayamaバイオアクティブ研究会第59回シンポジウム実行委員長				

	<p>⑨日本食品衛生学会令和3年度リスクコミュニケーションセミナー実行委員長</p> <p>⑩主体的学び研究所客員フェロー</p> <p>⑪ASEAN-JAPANゲノム医療研究推進国際会議 代表</p> <p>⑫Texcell Japan Co.Ltd. Research Advisor</p>
期 間	<p>①2010年 4月 1日～現在</p> <p>②2012年 4月 1日～現在</p> <p>③1999年 3月 1日～現在</p> <p>④2005年10月 1日～現在</p> <p>⑤2004年10月 1日～現在</p> <p>⑥2013年 3月 1日～現在</p> <p>⑦2013年10月11日～現在</p> <p>⑧2021年 7月1日～2021年10月27日</p> <p>⑨2021年10月1日～現在</p> <p>⑩2012年 4月 1日～現在</p> <p>⑪2017年 7月 9日～現在</p> <p>⑫2019年 4月 1日～現在</p>

所 属	薬学部	職 位	教授	氏 名	塩田 澄子
内 容	<p>①岡山市文化財保護審議会委員（副委員長）</p> <p>②岡山市社会福祉協議会身体障害者福祉専門分科会委員</p> <p>③岡山市依存・嗜癖問題対策審議会委員</p> <p>④岡山県薬剤師会顧問</p> <p>⑤日本細菌学会中国四国支部会評議員</p> <p>⑥日本薬学会中国四国支部代議員</p>				
期 間	<p>①2017年1月1日～現在（2021年度より）</p> <p>②2017年4月1日～現在</p> <p>③2019年4月1日～現在</p> <p>④2019年4月1日～現在</p> <p>⑤2018年4月1日～現在</p>				

	⑥2019年4月1日～現在
--	---------------

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教授	氏 名	渡辺 雅彦
内 容	①Associate Editor, Genes and Environment ②日本環境変異原ゲノム学会評議員 ③日本環境変異原ゲノム学会第一編集委員 ④内閣府食品安全委員会専門委員				
期 間	①2020年1月1日～現在 ②2016年1月1日～現在 ③2016年1月1日～現在 ④2021年10月1日～現在				

所 属	薬学科	職 位	教授	氏 名	工藤 季之
内 容	① 公益社団法人日本技術士会生物工学部会中国地区幹事 ② 公益社団法人日本技術士会中国本部修習技術者支援委員会委員 ③ 公益社団法人日本技術士会中国本部倫理委員会委員 ④ 公益社団法人日本技術士会中国本部環境部会副部会長 ⑤ 公益社団法人日本技術士会中国本部岡山県支部幹事 ⑥ 公益社団法人日本技術士会中国本部岡山県支部修習技術者支援委員会委員長 ⑦ 公益社団法人日本生物工学会JABEE特別部会委員 ⑧ 岡山実験動物研究会理事				
期 間	①2007年4月1日～2023年6月30日 ②2009年1月1日～2023年6月30日 ③2021年7月17日～2023年6月30日 ④2011年6月23日～2023年6月30日 ⑤2013年7月13日～2023年6月30日 ⑥2013年7月20日～2023年6月30日 ⑦2021年6月1日～2023年5月31日 ⑧2015年4月1日～2023年3月31日				

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	北村 佳久
内 容	①日本精神薬学会 倫理委員会 委員 ②日本医療薬学会 編集委員会 委員 ③日本医療薬学会 代議員 ④日本薬学会 佐藤記念医療貢献薬剤師賞 選考委員会 選考委員 ⑤Frontiers in Pain Research Review Editor				
期 間	①2019年4月1日～現在 ②2020年7月1日～現在 ③2020年7月1日～現在 ④2021年10月19日～現在 ⑤2021年4月1日～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	島田 憲一
内 容	①岡山県薬剤師会薬局委員会委員 ②岡山市介護認定審査会委員 ③内閣府食品安全委員会食品安全モニター ④岡山県病院薬剤師会実習委員会オブザーバー委員 ⑤薬学教育協議会 病院薬局実務実習中国・四国支部 支部委員 ⑥薬学教育協議会 病院薬局実務実習近畿支部 オブザーバー委員 ⑦一般社団法人 日本食品安全協会 健康食品管理士会 中国支部幹事				
期 間	①2008年4月1日～現在 ②2013年4月1日～現在 ③2015年4月1日～現在 ④2016年4月1日～現在 ⑤2017年4月1日～現在 ⑥2017年4月1日～現在				

⑦2019年10月1日～現在

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	加地 弘明
内 容	①薬学共用試験センター OSCE実施委員・モニター員 ②岡山県薬剤師会 理事 ③薬学教育協議会 教科担当教員会議 薬学と社会 担当教員 ④私立薬科大学協会 国家試験問題検討委員会 実務部会 担当教員 ⑤岡山県薬剤師会 薬局実習委員会 委員・副担当事務 ⑥岡山県薬剤師会 地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会 委員 ⑦岡山県薬剤師連盟 総務委員 ⑧岡山県薬剤師会 県民啓発委員会 担当事務				
期 間	①2015年4月～現在 ②2017年6月～現在 ③2018年4月～現在 ④2018年4月～現在 ⑤2018年4月～現在 ⑥2020年4月～現在 ⑦2021年6月～現在 ⑧2021年6月～現在				

所 属	就実大学薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	毎熊 隆誉
内 容	①一般財団法人タイオン奨学基金 評議員・選考委員 ②日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会 理事（研修委員） ③NPO法人 響きあいネットワーク・岡山SP研究会 正会員・顧問				
期 間	①2017年4月～現在 ②2019年3月～現在 ③2021年4月～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	講師	氏 名	山田 陽一
内 容	①岡山市薬剤師会理事				
期 間	①2021/6/1～2023/5/31				

所 属	薬学部薬学科	職 位	講師	氏 名	河野 奨
内 容	①岡山県薬剤師会薬局実習委員会 委員				
期 間	①2021年6月～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	講師	氏 名	田坂 祐一
内 容	①岡山県薬剤師会 おかやま薬学フォーラム実行委員会 委員 ②岡山県薬剤師会 安全管理特別委員会 委員 ③日本医薬品安全性学会 社員（評議員） ④岡山県立岡山城東高等学校 学校薬剤師 ⑤岡山市学校薬剤師会 理事 ⑥日本病院薬剤師会 学術第6小委員会 委員 （令和3年7月以降は学術第5小委員会へ名称変更） ⑦日本病院薬剤師会 医薬情報委員会 特別委員				
期 間	①平成30年12月20日～2021年6月5日 ②2019年7月10日～現在 ③2020年1月1日～現在 ④2020年4月1日～現在 ⑤2020年6月12日～現在 ⑥2020年7月1日～現在 ⑦2021年2月6日～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	助教	氏 名	石崎 厚
内 容	①岡山県薬剤師会薬物乱用防止委員会				
期 間	①2018年4月～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	助 教	氏 名	吉井 圭佑
内 容	①岡山県災害薬事コーディネーター ②岡山県薬剤師会 社会保険委員会 委員				
期 間	①2020年4月～現在 ②2021年7月～現在				

所 属	就実短期大学幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	小谷 彰吾
内 容	①日本特別活動学会 理事				
期 間	①2021年9月1日～2024年8月31日				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	柴川 敏之
内 容	①岡山県新進美術家育成「I氏賞」推薦委員 ②広島県立美術館評価委員会 委員 ③広島県博物館協議会 委員 ④第1回なんでそんなん大賞 審査員				
期 間	①2021年4月1日～2022年3月31日 ②2021年4月1日～2022年3月31日 ③2021年8月20日～現在 ④2021年2月1日～2021年2月21日				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	三好 年江
内 容	①岡山県子ども・子育て会議委員 ②岡山県保育協議会保育実習委員会 委員長 ③日本乳幼児教育学会第31回大会 運営委員 ④奈義町子育て等支援施設なぎチャイルドホーム子育て支援事業 事業アドバイザー				
期 間	①2022年2月19日～令和6年2月18日 ②2022年4月1日～2024年3月31日 ③2022年4月1日～2022年12月19日 ④2017年4月1日～現在				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	ズビャーギナ 章子
内 容	①令和3年度短期大学認証評価評価員				
期 間	①2021年4月1日～2022年3月31日				

所 属	就実短期大学幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	荊木 まき子
内 容	①日本教育心理学会 編集委員 ②日本コミュニティ心理学会 常任理事（副編集長） ③日本コミュニティ心理学会 第24回大会 運営委員				
期 間	①2020年1月～現在 ②2021年1月～現在 ③2021年1月～9月18日				

所 属	幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	鎌田 雅史
内 容	①日本教育心理学会 編集委員				
期 間	①2019年1月～2021年12月				

所 属	就実短期大学幼児教育学科	職 位	講師	氏 名	山下 世史佳
内 容	①岡山県音楽療法研究会常任理事				
期 間	②2016年4月1日～現在				

所 属	短期大学生生活実践科学科	職 位	教授	氏 名	大友 達也
内 容	①一般社団法人日本レセプト学会 理事長 ②一般財団法人日本能力開発推進協会 理事 ③一般社団法人日本レセプト学会 学会認定資格準備委員会 委員長 ④岡山県医師会医療秘書運営委員会 委員 ⑤全国医師会医療秘書学院連絡協議会 委員				
期 間	①2017年10月1日～現在 ②2015年4月1日～現在 ③2021年6月1日～現在 ④2019年4月1日～現在 ⑤2021年7月3日～現在				

所 属	就実大学薬学部附属薬局	職 位	管理 薬剤師	氏 名	松本 かおり
内 容	①岡山県薬剤師会 一般医薬品特別委員会委員 ②岡山県災害薬事コーディネーター				
期 間	①2021年 7 月 1 日～現在 ②2021年4月～現在				

所 属	就実大学薬学部附属薬局	職 位	薬剤師	氏 名	西山 典子
内 容	①岡山県薬剤師会 薬局実習委員会 委員				
期 間	①2019年7月10日～現在				

講師の派遣

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	教授	氏 名	川崎 剛志
実 施 日	①2021年9月20日 ②2021年11月7日				
事業主催者（依頼元）	①人間文化機構国文学研究資料館 ②紀の国和歌山文化祭2021(新宮市)				
タイトル	①正宗文庫セミナー「西大寺縁起絵巻断簡からみる信仰の一齣」 ②熊野歴史文化シンポジウム「熊野新宮の聖地文化 -山・川・海の景観を愛でる-」				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	准教授	氏 名	浅利 尚民
実 施 日	①2021年12月4日				
事業主催者（依頼元）	①特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会				
タイトル	①池田光政の肖像について」				

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	講師	氏 名	丸井 貴史
実 施 日	①2021年9月20日				
事業主催者（依頼元）	①国文学研究資料館				
タイトル	①第1回正宗文庫セミナー（演題「備前軍記の世界」）				

所 属	人文科学部 総合歴史学科	職 位	教授	氏 名	吉本 勇
実 施 日	①2021年10月16日				
事業主催者（依頼元）	①立正地理学会 会長講演				
タイトル	①街の変化を読む				

所 属	人文科学部総合歴史学科	職 位	教授	氏 名	苅米 一志
実 施 日	①2021年 12月 4日				
事業主催者（依頼元）	①岡山市御津公民館				
タイトル	①「太平記にみる岡山の中世武士団」				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教授	氏 名	楠 博文
実 施 日	①2021年 6月 3日 ②2021年 7月 2日 ③2021年 7月 30日 ④2021年 8月 20日 ⑤2021年 8月 23日 ⑥2021年 9月 17日 ⑦2021年 10月 15日 ⑧2021年 11月 5日 ⑨2022年 1月 21日 ⑩2022年 1月 27日				
事業主催者（依頼元）	①赤磐市立城南小学校 ②津山市立高野小学校 ③高梁市立中井小学校 ④笠岡市教育委員会，笠岡市教育研修所小学校算数研修部会 ⑤高梁市立中井小学校 ⑥高梁市立玉川小学校 ⑦高梁市教育委員会，高梁市立中井小学校 ⑧兵庫県加西市立九会小学校 ⑨兵庫県加西市立九会小学校 ⑩新見市立新見南小学校				
タイトル	①研究授業の指導助言 ②研究授業の指導助言 ③学習指導案検討会の指導助言 ④講演「算数の本質に迫る授業のつくり方」 ⑤学習指導案検討会の指導助言 ⑥研究授業の指導助言 ⑦講演「問いをもち，創造的に考える授業の追究」 ⑧研究授業の指導助言 ⑨研究授業の指導助言 ⑩研究授業の指導助言				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	講師	氏 名	田中 修敬
実 施 日	①2021年4月27日 ②2021年7月1日 ③2021年8月4日 ④2021年12月23日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県総合教育センター ②早島町立早島幼稚園 ③岡山市岡山っ子育成局幼保運営課 ④吉備中央町立円城幼稚園				
タイトル	①教職生活を始めるにあたって ②「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解と早島の子どもの育ちの つながり ③子どもの思いや願いを実現する遊びや生活を週計画から考える ④友達とつながる集団作りに向けて				

所 属	教育心理学科	職 位	教授	氏 名	石原 みちる
実 施 日	①2021年9月24日 ②2022年2月19日				
事業主催者（依頼元）	①就実教育実践研究センター・就実小学校 ②玉野市・玉野こころの健康を考える会				
タイトル	①「多様な」子どもたちへの理解と対応 ②コロナ禍の子どものこころ				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教授	氏 名	森 宏樹
実 施 日	①2021年12月17日				
事業主催者（依頼元）	①高梁市立有漢西小学校				
タイトル	①薬物乱用防止教室				

所 属	教育心理学科	職 位	准教授	氏 名	森村 和浩
実 施 日	①2021年6月26日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県産業看護部会				
タイトル	①運動と脳の健康～カラダと脳に効く運動～				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	講師	氏 名	堀田 裕司
実 施 日	2021年5月22日 2021年6月26日 2021年8月6日 2021年9月16日 2021年9月22日 2021年10月22日 2022年2月4日 2022年3月11日				
事業主催者（依頼元）	中央労働災害防止協会				
タイトル	職場における思いやり行動 ～より良い関係性を構築するための仕事を通じた助け合いについて～				

所 属	経営学部・経営学科	職 位	教授	氏 名	古塚 秀夫
実 施 日	①2021年10月29日				
事業主催者（依頼元）	①四国不動産鑑定士協会連合会				
タイトル	①農地評価の現状と課題				

所 属	経営学科	職 位	教授	氏 名	林 俊克
実 施 日	①2021年4月21日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県立岡山操山高等学校				
タイトル	①1年構内研修基調講演「グローバル社会で生きるということ」				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	講師	氏 名	大塚 祐一
実 施 日	①2021年7月4日				
事業主催者（依頼元）	①公益財団法人モラロジー道德教育財団				
タイトル	①人づくりとしてのSDGs				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教授	氏 名	見尾 光庸
実 施 日	①2021年5月16日				
事業主催者（依頼元）	①薬剤師あゆみの会、富永薬局				
タイトル	①薬物アレルギー				

所 属	薬学部	職 位	教授	氏 名	塩田 澄子
実 施 日	①2021年 9月 3日				
事業主催者（依頼元）	①文部科学省				
タイトル	①令和3年度薬学教育指導者のためのワークショップ タスクフォース				

所 属	薬学科	職 位	教授	氏 名	平岡 修
実 施 日	①2021年 11月 5日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県立西大寺高校				
タイトル	①薬物乱用防止教室				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	加地 弘明
実 施 日	①2021年4月3日 ②2021年4月18日 ③2022年3月7日				
事業主催者（依頼元）	①高島おひさまこども園 及び つしま幼稚園 ②岡山県薬剤師会 ③曾根小学校				
タイトル	①エピペン使用講習会（職員研修会） ②新型コロナウイルスワクチン取扱いに係る研修会 ③薬物乱用防止教室「みんなで知ろう！危険ドラッグのこと」				

所 属	就実大学薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	毎熊 隆誉
実 施 日	①2021年10月13日 ②2021年11月17日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県病院薬剤師会 ②日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会				
タイトル	①今さら聞けない統計学のいろは～臨床研究の第一歩～ ②今さら聞けない統計学のいろは～日常業務やコミュニケーションの成果を“見える化”する～				

所 属	薬学部薬学科	職 位	講師	氏 名	山田 陽一
実 施 日	①2021年10月4日				
事業主催者（依頼元）	①大学コンソーシアム岡山事務局				
タイトル	①感染症の基礎と対策				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	講師	氏 名	田坂 祐一
実 施 日	①2021年6月11日 ②2021年11月21日 ③2021年11月21日				
事業主催者（依頼元）	①武蔵野大学 薬学部 ②岡山県薬剤師会 ③株式会社ファーマシイ				
タイトル	①薬剤師の業務と臨床生化学 ②抗がん剤のプレアボイド及びトレーシングレポート作成について ③薬局プレアボイドの考え方と実践のポイント				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	助教	氏 名	吉井 圭佑
実 施 日	①2021年7月21日 ②2021年10月27日 ③2021年10月29日 ④2021年10月30日 ⑤2022年1月27日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県病院薬剤師会 ②おかやまバイオアクティブ研究会、公益財団法人岡山県産業振興財団 ③岡山県病院薬剤師会、アストラゼネカ株式会社 ④岡山市公園協会、就実・森の学校、岡山市 ⑤大学コンソーシアム岡山/山陽新聞社（吉備創生カレッジ）				
タイトル	①災害時の薬剤師対応と災害対策マニュアルの作成について ②就実大学薬学部附属薬局における防災への取り組み ③災害対策マニュアル作成について ④防災博士になろう ダンボールトイレ作成 ⑤薬剤師の仕事とは何か				

所 属	幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	池田 明子
実 施 日	①2021年4月16日・7月9日・10月29日 ②2021年6月25日 ③2021年7月2日 ④2021年7月27日 ⑤2021年8月4日 ⑥2021年8月24日 ⑦2021年10月5日 ⑧2021年10月10日 ⑨2021年11月5日 ⑩2021年12月4日				
事業主催者（依頼元）	①三原市立本郷幼稚園 ②中国地区国立大学附属学校連盟幼稚園部会 ③東広島市立八本松中央幼稚園 ④広島市立瀬野幼稚園 ⑤三原市公立幼稚園教育研修会 ⑥幼稚園中堅教諭等資質向上研修園外研修（広島県） ⑦広島県国公立幼稚園・こども園連盟教育研究大会 ⑧岡山市教員免許状更新講習 ⑨広島大学附属三原幼稚園 ⑩広島大学附属三原幼稚園・小学校・中学校：幼小中一貫教育研究会				
タイトル	①園内研修指導助言 ②「保育の原点に還る」 ③園内研修指導助言 ④「幼児を理解するということ-「主体性」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点から考える-				

	⑤「保育の原点に還る」 ⑥「指導計画の作成と保育記録の活用」 ⑦「伝え合いを育む保育」 ⑧「子どもの発達と学び」 ⑨園内研修指導助言 ⑩保育部会講評
--	---

所 属	幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	小谷 彰吾
実 施 日					① 2021年4月5日 ② 2021年4月23日 ③ 2021年4月29日 ④ 2021年5月26日・27日 ⑤ 2021年6月24日・25日 ⑥ 2021年7月14日 ⑦ 2021年8月4日 ⑧ 2021年8月6日 ⑨ 2021年8月25日 ⑩ 2021年9月25日 ⑪ 2021年10月5日 ⑫ 2021年10月22日 ⑬ 2021年10月23日 ⑭ 2021年10月30日 ⑮ 2021年11月20日 ⑯ 2021年12月3日 ⑰ 2021年12月7日 ⑱ 2022年1月21日 ⑲ 2022年1月28日

<p>事業主催者（依頼元）</p>	<p>①中小企業経営者セミナー（福山北倫理法人会） 神辺町商工会館 ②中小企業経営者セミナー（岡山東倫理法人会） 西大寺学芸館ガーデン ③岡山歴史研究会総会講演（岡山歴史研究会） 岡山県立図書館 ④中小企業経営者セミナー（玉野児島倫理法人会） 児島マリンホテル ⑤中小企業経営者セミナー（津山市倫理法人会） 津山市観光センター ⑥高校進路ガイダンス（総社南高校） 総社南高校 ⑦岡山県学校教育研究会特別活動班会指導助言（教育研究会井原支部） ⑧中小企業経営者セミナー（福山市倫理法人会） 福山市長浜公民館 ⑨潜在保育士研修会・リカレント教育研修会（就実短期大学幼児教育学科） ⑩高校進路ガイダンス出前講座（県立勝山高校） ⑪笠岡市就学前教育保育者研修会（笠岡市こども科） ⑫倉敷市立穂井田小学校教育講演会（穂井田小学校PTA） ⑬浅口市立六条院小学校PTA教育講演会（六条院小学校PTA） ⑭倉敷市立西阿知小学校PTA教育講演会（倉敷市立西阿知小学校） ⑮井原市立大江小学校PTA教育講演会（井原市大江小学校PTA） ⑯美咲町立柳原西小学校（柵原西小学校PTA） ⑰岡山県立岡山工業高等学校（岡山工業高校） ⑱笠岡市立神島外浦小学校PTA教育講演会（神島外浦小学校PTA） ⑲新見市立塩城小学校教育講演会（新見市立塩城小学校PTA）</p>
<p>タイトル</p>	<p>①目指すという縦の力、つながるといふ横の力 ②先人に学ぶよりよい生き方 ③渋沢栄一に学ぶ ④今こそ健全な学びの環を地域に広める時 ⑤地域の文化教養を高める一灯へ ⑥「先生」になるということ ⑦これからの時代の教育を担う特別活動 ⑧めざす「縦の力」つながる「横の力」 ⑨これからの時代の保育者に必要な事 ⑩「先生」と呼ばれる人になるという事</p>

	⑪時代が求める「省察的实践家」へ ⑫これからの時代を生きる子どもたちに必要な力 ⑬めざす「縦の力」つながる「横の力」 ⑭これからの時代を生きる子どもたちに必要な力 ⑮めざす「縦の力」つながる「横の力」 ⑯めざす「縦の力」つながる「横の力」 ⑰体験が道德の基盤を創る ⑱これからの時代を生きる子どもたちに必要な力 ⑲めざす「縦の力」つながる「横の力」
--	--

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	柴川 敏之
実 施 日	① 2021年2月21日(土)				
事業主催者 (依頼元)	① なんでそんなんプロジェクト実行委員会、NPO 法人脳損傷友の会高知青 い空/ 中国・四国 Artbrut Support Center passerelle (パスレル) *厚生労働省 令和2年度障害者芸術文化活動普及支援事業				
タイトル	①「なんでそんなんプロジェクト」シンポジウム				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	三好 年江
実 施 日	①2021年9月3日 ②2021年11月21日 ③2021年12月9日 ④2022年1月20日 ⑤2022年2月5日 ⑥2022年3月1日				
事業主催者 (依頼元)	①倉敷市保育協議会 ②岡山市保育協議会 ③岡山県備前県民局/NPO法人プレーパークの会 ④瀬戸内市保育協議会				

	⑤玉野市保育協議会・教育委員会 ⑥久米苫田地区保育協議会 ⑦奈義町子育て等支援施設「なぎチャイルドホーム」
タイトル	①「保育実践研究にあたって」 ②オンライン研修会「指導計画の書き方、記録・評価について」 ③オンライン講演会「もっともっと外遊び」 ④「乳幼児教育と子育て支援」 ⑤「子どもが主体として育ち育てられる保育とは」 ⑥「自主保育について」

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	ズビャーギナ 章子
実 施 日	①2021年7月4日				
事業主催者（依頼元）	①旧旭東幼稚園園舎(八角園舎)				
タイトル	①心と身体ストレッチ&呼吸法				

所 属	就実短期大学 幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	荊木 まき子
実 施 日	①2021年4月12日				
事業主催者（依頼元）	①吉備創生カレッジ				
タイトル	①ストレスとのおつきあい				

所 属	幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	鎌田 雅史
実 施 日	①2021年 11月 8日				
事業主催者（依頼元）	①吉備創成カレッジ				
タイトル	①影響力の心理学 関係性の中で決まる説得力				

所 属	就実大学薬学部附属薬局	職 位	管理 薬剤師	氏 名	松本 かおり
実 施 日	①2021年11月18日 ②2022年2月8日 ③2022年2月24日				
事業主催者（依頼元）	①岡山市立桃丘小学校 ②岡山市立桃丘小学校 ③岡山市立馬屋上小学校				
タイトル	①薬物乱用防止教室 ②ハンドケア講習会 ③薬の適正使用教室				

所 属	国際交流部 国際交流課	職 位	課長	氏 名	野村 照代
実 施 日	①2022年 2月15日				
事業主催者（依頼元）	①学校法人 大阪滋慶学園				
タイトル	①マナー講座—これから社会へ巣立つ皆さんへ—				

『地域と歩んだ就実の軌跡—地域貢献報告書』

第 14 号

2022 年 4 月 10 日

発 行 就実大学・就実短期大学 地域貢献委員会
〒703-8516 岡山県岡山市中区西川原 1-6-1
Tel (086) 271-8111 (代)

発行責任者 地域貢献委員長 岡本 悦子

印 刷 株式会社アネスト